

保育おおさか

No. 471

平成 26 年 11 月 1 日

発行人 永野 治男 編集人 齊藤 和正

大阪府中央区中寺 1 丁目 1-54

TEL.06-6762-9001 FAX.06-6768-2426

http://www.ans.co.jp/u/osakahtoiku/

2ブロックでスマイルサポーター フォーアアップ研修会開催

各ブロックの企画によりスマイルサポーターフォーアアップ研修会が開催されました。北大阪ブロックでは29人が参加、堺ブロックではスマイルサポーター24人、コミュニティソーシャルワーカー（以下、CSW）12人の36人が参加しました。

北大阪

9月4日に交野市立ゆうゆうセンタールにて保育部会・地域貢献事業推進委員会委員の篠崎直人氏、四條畷市民生委員児童委員協議会・会長の石原欽子氏が講演されました。

篠崎氏は、「地域貢献事業の意義・スマイルサポーターの役割について」のテーマで、保育園における地域貢献事業について説明し、「地域の方々の生活相談に応じ『悩んだとき



スマイルサポーターの役割を考える（北大阪）

堺

9月30日に堺市産業振興センターにて開催。今回はスマイルサポーターと老人福祉施設のCSWが参加

は、保育園が力になります」という存在に保育園がなっていくことを目指して取り組んでいってほしい」とメッセージを送られました。

石原氏は「若いお母さんの子育てをバックアップ」のテーマで、民生委員児童委員が実施する子育てサロン、親同士のつながりがもてる場所を提供している事例を紹介。また学校との連携の事例の中では、不登校児への支援などを報告されました。石原会長は「今後は保育園や関係機関と協力をしながら、協働体制の中で子育て支援を取り組んでいけるようにしていきたい」と話されました。

最後に、大阪府社会福祉協議会社会貢献推進室より老人施設部会が取り組んでいる「社会貢献事業」について説明がありました。



施設の枠を越えた議論（堺）

し、意見交換を兼ねた研修会として実施されました。

はじめに保育部会・地域貢献推進委員会委員の重谷崇夫氏がスマイルサポーターとしての役割を説明。重谷氏は「保育園だけで解決するのではなく、『つなぎ』の役割として、関係機関に対して適切につなぐことが重要。今後は老人福祉施設の社会貢献事業との連携を図っていくことが必要」と話されました。

次に大阪府社協・社会貢献支援員が対応した事例をもとにスマイルサポーターとCSWが事例検討を行いました。

参加者からは「お互いの立場からの支援方法・活動を知る良い機会になった」、「支援者情報の集め方などの違いがすべて非常に参考になった」との感想がありました。

今後、スマイルサポーターとCSWが連携し、地域の中で協働による取り組みの発展が期待されます。



今年度も読売ジャイアンツがリーグ優勝し3連覇となりました。セ・リーグは最終的には独走となりましたが、パ・リーグはソフトバンクが最終戦で劇的な延長サヨナラで勝利しました。試合終了後のオリックス選手たちが涙している姿は感動的でした。結果、18年ぶりのオリックスバファローズの優勝は叶いませんでした。

18年前のオリックスは、まだ20代前半のイチローが在籍していた黄金時代で、間違いなくイチローがヒットを打つ。ノーヒットの試合を見る方が珍しい。そんな彼も来年は42歳となり、ヤンキースが来季の契約を結ばないのではないかと思っています。50歳まで現役を目指すイチローが日本復帰をして、古巣オリックスに帰ってくるのが現実になれば、関西が盛り上がることは間違いありません。

さて、私が、原稿を書いている時点では、日本シリーズ進出チームが決まっています。順当に巨人対ソフトバンクになっているのか、関西ダービーになっているのか。どうなっているでしょう。（編集委員K・K）

子ども・子育て支援 新制度研究グループ

調査研究委員会子ども・

子育て支援新制度研究グループでは、内閣府で行われている子ども・子育て会議や基準検討部会の動向や資料を追いながら、正しい理解と認識を深め、新制度に対する準備を進めています。

まず5月に出された公定価格の仮単価表が子ども・子育て会議に提示され、合

意に至った際の、対応として、「処遇改善等加算」など

国の制度が明確になつていないところですが、試算表などをもとに何がどう現行制度と違うのか、比較検討を行ってきました。

それと平行して、職員配置基準、学級編成、整備及び運営に関する基準など、幼保連携型認定こども園の認可基準について、現行の

六尺へちまに挑戦されておられる園に

成果の品評会（写真判定による）を12月に予定しています。11月15日（土）を目途に収穫を行い、園長先生とへちま（長さの分かる写真）を撮影してください。

大阪府社会福祉協議会・施設福祉部（tamesue.koshiro@osakafusyakyō.or.jp）までメールにてご連絡ください。

1位、2位、3位は『保育おおさか』誌面で表彰予定です。

「介取り（白取り）」の人材育成を図ります。ご興味、ご関心のある方はぜひご参加ください。

日時●11月29日（土）14時～

場所●榎塚台保育園（堺市南区榎塚台3-5）

参加費●2,000円（当日、徴収させていただきます）

服装●餅つきができる服装

参加ご希望の方は、保育園名・氏名を記入し、（様式は問いません）FAX 072-297-9484へお申込ください。

「介取り（白取り）」講習会のお知らせ

保育園から移行するに際し、整備が必要な点、どこを注意する必要があるかなど、さまざまなネットワークを使いながら、委員会として理解を深めてきました。

6月11日に開催された全国保育協議会主催の「保育新制度セミナー Stage II」では保育園側からの質問事項を取りあげ、厚生労働省からの回答をいただけることのであったため、各委員に緊急アンケート調査を行いました。

定員超過時の取り扱い、新制度でどのようになるのか、また、2年間120%を超過した際には、どの期間を起点にして減算されるのか。

民間給与改善費補助金が残るのであれば、幼保連携型認定こども園においては、社会福祉施設での経験年数だけでなく、学校法人での幼稚園の経験も加味されるべきではないか。職員の処遇に関して、退職金制度の取り扱いはどうなるのかなどの質問が出され、委員会として取りまとめセミナーで質問をさせていたいただきました（質問の回答は

全保協会報「ぜんほきょう8月号」の「特集」をご覧ください。

今後の委員会活動としては、子ども・子育て支援新制度の未確定な部分を子ども・子育て会議、基準検討部会の動向や資料を読み込みつつ、各市町村で検討される保育時間の認定や保育

平成25年3月より経営者部会内に設置された「社会貢献事業検討会議」において、「オール大阪の社会福祉法人による社会貢献事業（仮）」が検討されてきました。25年度は、事業を実施するにあたり、各種別部会での参画方法について検討。26年度からは、27年4月からの本格実施に向けた具体的な課題の検討を行っています。

同事業には2本の柱があります。

一つ目は、「生活困窮者レスキュー事業」の実施です。10年間、老人施設部会で実施してきた同事業をもとに、各種別部会

オール大阪の社会福祉法人による社会貢献事業の実施

●地域貢献事業推進委員会●

が参画し、ワンストップの「総合生活相談事業」、おおむね10万円を限度とした「経済的援助（現物給付）」を行うものです。

また、経済的援助や本事業の円滑な推進をサポートする社会貢献支援

この間、保育部会においては、正副部会長会議、地域貢献事業推進委員会などで事業の推進方法や課題について議論。去る10月7日に開催された保育部会常任委員会において、事業への参画、社会貢献基金の拠出について承認されました。

今後は各ブロックで説明会を実施し、会員保育園の協力について呼びかけを行ってまいります。

中間的就労、子育て支援などすでに取り組まれてきた事業を広く発信し、施設種別の特性を活かした実践を展開することです。

必要量の決定、支給認定の有効期間など、市町村版子ども・子育て会議の情報や各市町村の補助金体系がどのように変わっていくのかを各委員と共有していきたいと思っています。

また、平成27年度からスタートするうえで必要な利用者事業所間での契約書

や重要事項説明書などの雛形の検討、幼保連携型認定こども園教育・保育要領や小学校との接続のあり方について研究。さらに平成28年度以降に移行しようと考えておられる法人に対して、移行に際しての判断材料などを検討していきたいと思っています。（調査研究委員N・K）

いろいろな環境の中で 心身ともに豊かに育つ子に 異世代や外国文化にふれる機会を

高槻市 トーマスひむろ保育園

トーマスひむろ保育園は「社会福祉法人もえぎの会」を母体として、平成24年4月に開園されました。高槻市の北西部に位置し、北摂の豊かな自然と田園風景に包まれたのどかな雰囲気で、定員は90人、平成26年10月現在、105人の園児を保育されています。子どもたち自身が自分の思い通りにならないことが数多くあることを学び、「相手を思いやる心」「広い視野」「たくましい心」を身に付け、心身ともに豊かに育ってほしいという思いから多種多様な環境づくりを行ってられます。



地域とのつながりを大切に

開園当初より特別保育として英語保育を導入。現在は3歳児から5歳児クラスで週2回の外国人スタッフによるレッスンを実施しています。外国人スタッフはお散歩や給食など通常保育のサポートや「運動遊び」「トーマスマつり」などの行事にも参加し、単に英語授業を行うだけでなく、普段の園生活の中で、園児たちが少しでも多く外国文化にふれることができる環境を提供されています。



木をふんだんに使った園内

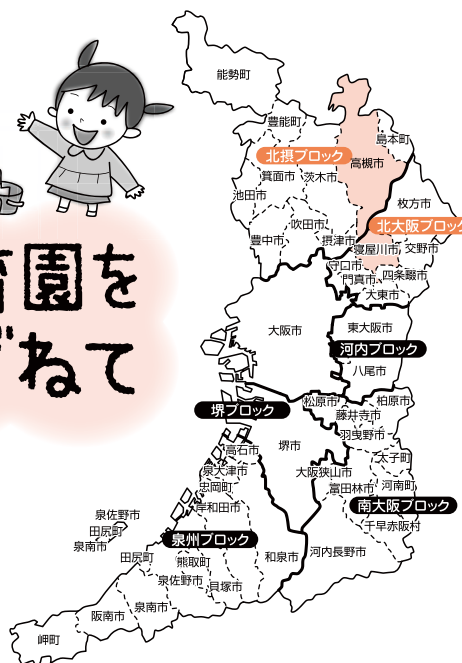
また、関連法人の高齢者介護福祉施設「デイサービスもえぎ」と連携し、敬老会などを催して世代間のコミュニケーションの場も提供されています。地域子育て支援事業にも積極的に取り組んでいられる予定で、園内の「地域交

(編集委員 M・K)



保育園を たずねて

504



寝屋川市 寝屋川市は寝屋川市の北東部にある定員60人の保育園です。「親子の」「子どもと子どもの」「保護者と保護者の」「保育園と子どもの」「保育園と保護者の」「保育園と地域の」「保育園と職員の」それぞれの7つのきずなを「園是」として大切にし、この「きずな」を強く、太く、育むことを目標にされています。これらの多くは園の努力によってよくすることが可能です。しかし、地域とのきずなを築くには地道な努力が必要です。地域の子育て支援事業として「子育て



おいしいお米ができたかな？

支援 Kids+（プラス）」というプログラムを実施しています。育児相談はもとより地域の子育て家庭への交流促進やイベントの提供を行っています。「土」には「少しでも貢献したい」との思いが込められています。食育への取り組みは「きずな」を深めるための重要なアイテム。敷地内にはナスやキュウリなどの野菜専用スペースが、園前の田んぼには園児が田植えから刈り取りまで世話をしている稲があります。かし作りも大切な仕事です。食育体験プログラム「キッズふあゝむ」として子育て支援でも取り入れています。また、特産品のさつま芋など地元の作物を多く使っています。しかし、何より



みんなで作るやさしい屋さん

も注目なのは「やさしい屋さん」システム。「嫌いな野菜でも自分で育てた物は食べる」と、栽培した野菜を保護者へ販売しています。収益で次の苗や種を購入するシステムです。これはスゴイ！ (編集委員 J・F)

7つのきずなを強く、 太く育む 地域の子育て支援と 食育の取り組み

寝屋川市 ねや 寝屋保育園



シリーズ●災害に備える取り組み

子育て世代への防災の意識調査の結果報告③

大手前栄養学院専門学校

古川和子・畦岡悦子

今回は、各家庭での「避難体制」の準備状況についての結果を報告します。

災害時の家族の行動は

「自分の居住地の避難所を知っているか」について尋ねたところ、「正確に知っている」と回答した人は34.6%、「大体知っている」と回答した人は51.2%、「知らない」と回答した人は14.2%と、大多数の人が避難所の場所を知っていました（図－1）。

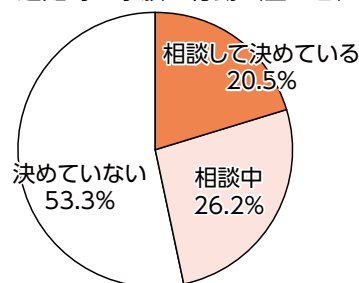
次に、震災発生時には家族が全員同じ場所にいない

ことが想定されるため、日ごろから家族でどのような行動を取るのかを相談し確認しておく必要があります。

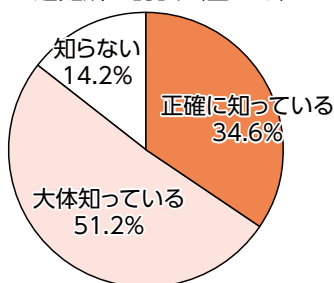
そこで、非常時での家族の行動について相談しているかを尋ねたところ、「決めている」と回答した人は20.5%、「相談中」と回答した人は26.2%、「決めていない」と回答した人は53.3%と、過半数の人が相談をしていない状況でした（図－2）。

また、備蓄の準備状況と

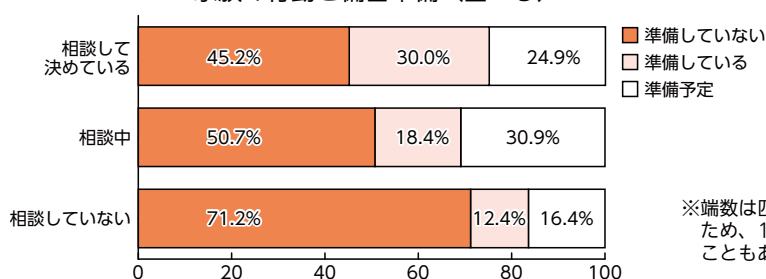
避難時の家族の行動（図－2）



避難所の認識（図－1）



家族の行動と備蓄準備（図－3）



※端数は四捨五入しているため、100%にならないこともある

アンケート調査のまとめ

- ① 備蓄の準備をしていない人は、調査した人のうち半数以上ありました。
- ② 1、2階建て住居に居住



- ③ 備蓄する内容では、飲料水を準備すると答えた人の割合が高く、日ごろから家庭内に常備されている主食類の割合は低い傾向になっていました。
- ④ 熱源の準備をしている人は約4割で、種類としてはカセットコンロが約8割でした。
- ⑤ 熱源の準備をしている人では、備蓄食品を準備している割合が高い傾向でした。
- ⑥ 非常時の家族の行動については、相談していない人の割合が高く、相談していない人ほど備蓄をしていない傾向がみられました。

少なくとも1、2日分の備蓄を

災害発生に対する備えについて改めて考えておく必要があることがわかりました。災害発生時には、自治体が被災者への食料支援を開始するまでは、自助努力で食料の確保などが必要となります。

自宅の安全が確保できた場合には、乳幼児のいる家庭では、少なくとも1、2日分程度の家族の食事が賄える準備をしておくことが大切です。

飲料水の備蓄とともに、常備している食品は、切らすことなく、使用したら買い足すというローリングストック方式で備蓄しておく必要があります。また、熱源としてカセットコンロを準備しておくことも重要となります。

今回は、日ごろ常備している食品を使用した災害時に役立つレシピを紹介したいと思います。

ブロックだより

OSAKA

河内

幼児期への準備期に、 ていねいに関わる

—保育士研修会—

東大阪市私立保育会では、26年度の保育士研修会に、大阪総合保育大学院児童保育学部長・大方美香氏を講師に、「0歳児から5歳児の

保育」をテーマに月1回の研修会を行っています。

9月19日「2歳児保育」の研修会に、40人が参加。

2歳児は、運動の基本が育ち身体と心のバランスがはつきりしてくるため、上半身をリラックスして開放感を自ら感じる喜びがわかるようになります。

また、自他の関係が芽生



心と体について講義する大方氏

える時期、「自分のもの」という意識が育つため、自己コントロールの力をつけるために「取り合い」や「こたわ

り」にまわりのおとながつきあう必要があります。

見立てや、ごっこあそびは、創造性やイメージ力を育むこの時期にこそ大事にしなければならぬこと。

子ども一人ひとりがどの発達段階にいて、どんな関わりが必要かを把握し、その子に合った関わりをしていくこと、それが子どもの適応力、認知力、記憶力、見立てなどの成長に繋がっていくなど、2歳児保育の難し

泉州

発達特性と 保育のあり方

—発達学習連続研修会—

泉佐野市主催で大阪大学大学教員の長瀬美子氏を講師に、子どもの発達学習連続研修会を開催。3回に渡り、0〜5歳児の発達特性について学びました。毎回、たくさんの方々が参加し盛況です。

要点は以下の通りです。

0、1歳児

月齢差を前提にしていねい



年齢ごとの発達について学ぶ参加者

さを実感し、責任の重要性を感じました。
幼児期への準備段階にいる子どもたちを丁寧に保育することがキーワードです。
(玉串保育園T・H)

に保育をすることで安心できる大人との関係を土台に他児に関わっていく力が育ちます。発達は直線ではなく振れながら育つため、憧れる保育が大切。大人が子どもの気持ちを読み取り言葉にすることも大切です。

2、3歳児

運動機能が高まり、言葉がさらに豊かになり、友だち関係が広がります。「やってみよう」「一緒に遊ぼう」という思いが育ち、子どもがお互いの思いを寄せて共感する活動(ごっこ遊びなど)を豊かに取り入れていくことが大切です。

4、5歳児

自己コントロールの素地ができ、「わかる」力が伸びてきます。「集団の中の自分」として行動ができ、手順があり他児と協力するお手伝いを保育に取り入れることが大切です。

就学前には、これらの発達過程を通して前向きにむかえる力、コツコツと取り組む態度と構えが育っていることが必要であり、学習の基礎をつけていくことが大切です。改めて日々の保育の大切さを感じました。

(編集委員Y・S)

さんぽ



広島県の大雨による土砂災害、御嶽山の噴火、また台風の上陸やゲリラ豪雨など近年まれにみる自然災害が日本列島を襲っています。

災害に遭われました方には心よりお見舞い申し上げます。

災害の発生が報道されるたびに人の力ではどうにもできないことを実感させられます。いつ発生するか予測できないことにに対し、利用者や職員

の安全を確保できるように常日頃から施設ごとに準備をしておかなければなりません。

予測できない災害

常日頃からの準備を

八尾市社会福祉施設連絡会では災害発生時、要配慮者に関する取り組みを進めています。大規模災害発生時には老人施設、障がい者施設、保育施設の団体が各施設で保育する専門的対応

いくために、保育園に食糧や水などの備蓄をしておくことが必要となってきました。現在、各施設でも食糧などの備蓄を行い災害などに備えておられていると思い

と人材の支援、施設の提供をすることで話し合いが進んでいます。

大規模災害が発生し乳幼児を含む市民が避難所生活を余儀なくされた場合は施設を提供し、保育を行っている

河内 ブロック

ますが、今以上の準備が必要となるのではないでしょう

保育施設としては災害により緊急保育が必要となった場合、
(1) 避難所などにおける育

南海トラフの巨大地震も30年以内に発生する確率が60〜70%とも言われています。災害発生時には保育施設としての役割を果たせるように今から準備や心構えをしていく必要があるのではないのでしょうか。
(あけぼの保育園K・A)